東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

NIPPON STEEL
日本製鉄株式会社

Press Release

2025 年 4 月 18 日

報道機関　各位

国立大学法人東北大学

「日本製鉄×東北大学 共創研究所」を設置
鉄鋼に関わる研究の促進、
将来にわたる研究・教育基盤の強化・拡大を目指す

【発表のポイント】
- 国立大学法人東北大学と日本製鉄株式会社は、「日本製鉄×東北大学 共創研究所」を設置しました。
- 鉄鋼に関わる研究の促進と人材育成を図り、将来にわたる両者の研究基盤の強化・拡大を目指します。

【概要】

国立大学法人東北大学（所在地：宮城県仙台市、総長：冨永悌二　以下「東北大学」）と、日本製鉄株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長兼 COO：今井正　以下「日本製鉄」）は、「日本製鉄×東北大学 共創研究所」を、2025 年 4 月 1 日、金属材料研究所に設置しました。

東北大学の研究力を最大限活用し、カーボンニュートラル社会の構築のために重要性が高まっている鉄鋼に関わる研究の促進と人材育成を図り、将来にわたる両者の研究基盤の拡大を目指します。

設置場所：金属材料研究所 （片平キャンパス）

研究

【詳細な説明】

背景

これまで東北大学と日本製鉄は、様々な分野で共同研究を実施し、東北大学の優れた研究力を活用し、多くの研究成果を上げてきました。2017 年に多面的な産学連携基盤の構築を目指した「組織的連携協力協定」を締結し、2022 年には工学研究科に共同研究部門「マルチスケールマテリアル工学」を設置し、優れた成果を挙げてまいりました。

今回のチャレンジ

この度、世界最高水準の研究・教育の創造に取り組む東北大学の「共創研究所」(注1) の制度を活用し、学内に連携拠点を設置いたしました。

「日本製鉄×東北大学共創研究所」では、さまざまな産業の基盤となる鉄鋼材料の基礎から応用まで、より幅広い分野の研究の推進と新たな研究テーマの探索を実施します。また、これまで産業界に指導的人材を輩出してきた東北大学の教育ポテンシャルを最大限に生かし、鉄鋼材料にかかわる優れた人材の育成も実行します。

これらの活動を通し、現在～将来にわたる鉄鋼研究の推進、将来のカーボンニュートラル社会の構築に向けて、研究基盤の強化・拡大を目指します。

１．名称

「日本製鉄×東北大学共創研究所」

２．活動内容

・研究

鉄鋼に関わる研究において優れる部局間の交流により、幅広い課題の解決を目指し、部局横断的な研究の推進と大学のシーズに期待した新たな研究テーマの探索を実施する。

・人材育成

鉄鋼材料に関わる人材の育成

３．運営体制

・運営総括責任者：

日本製鉄株式会社　大村朋彦リーディングリサーチャー（金属材料研究所 特任教授）

・運営支援責任者：

金属材料研究所　古原忠 教授

４．設置場所

東北大学片平キャンパス 金属材料研究所

５．設置期間

2025 年 4 月 1 日～2030 年 3 月 31 日

【用語説明】

注1.　共創研究所：大学内に企業との連携拠点を設けるとともに、大学の教員・知見・設備等に対する部局横断的なアクセスを可能とすることで、共同研究の企画・推進、人材育成、および大学発ベンチャーとの連携をはじめとする多様な連携活動を促進する制度。

東北大学 産学連携機構 Web サイト（共創研究所）

https://www.rpip.tohoku.ac.jp/jp/information/kyoso_kenkyu

【問い合わせ先】

東北大学 金属材料研究所 情報企画室広報班

電話：022-215-2144

Email: press.imr@grp.tohoku.ac.jp

東北大学 産学連携機構 産学共創推進部

電話：022-795-5275

E-mail：sangaku-suishin@grp.tohoku.ac.jp